

琉球大学学術リポジトリ

<写真だより>沖縄農学校農業クラブ大会

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 平田, 永二 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20947

〈写真だより〉 沖縄学校農業クラブ大会

沖縄学校農業クラブ連盟主催、文教局、アジア財団、農業教育研究会及び農業クラブ後援会後援の第12回沖縄学校農業クラブ大会が去る1月28日、29日の両日、中部農林高等学校とコザ琉米親善センターにおいて行なわれた。今回は特にFFJ 成人副代表の青木新吾氏（東京都立園芸学校校長）やFFJ 会長の佐藤昌市君（東京都立園芸学校3年）も出席され、大会に花をそえられた。

その行事の一環として各種技術競技及び発表会が行なわれた。初日の28日は、測量、耕耘、家畜審査、農業鑑定などの技術競技と意見発表やクラブ発表などのコンテストが催された。若人達が学校で得た知識や体験を大いに発揮してそれぞれの分野で技を競った。29日は、コザ琉米親善センターに於いてプロジェクト発表並びにレクリエーションが行われたが、どの代表も農村の現実的な問題を研究テーマにとりあげ、地域の農業及び生活改善に貢献しようとする意欲にもえ、だん上において、その決意を表明していた。

沖縄においては、農業就業者が年々減少しつつある。特に農林高等学校を卒業した者の就業者は少なく、1963年度はわずか13%でしかなかった。そのような現状において、沖縄の農業をより発展させようという意欲にもえた若人達がいるということは、よろこばしいことであり、農業近代化もそう遠くないという感がする。広い視野と高い識見をもった実践的な農業者をみんなの手で温く育てあげたいものである。

なお、参加校は、八重山農林高校、宮古農林高校、久米島高校、南部農林高校、中部農林高校、北部農林高校の6校である。

次の写真はその大会の様相である。

(平田 永二)



1. 全選手および中農高校職員、生徒参加のもとに行なわれた開会式



4. 平板競技は、機械手、測距手、ポールマンがお互いに助け合いながら限られた時間内に出来るだけ誤差を小さくし上げることにある。



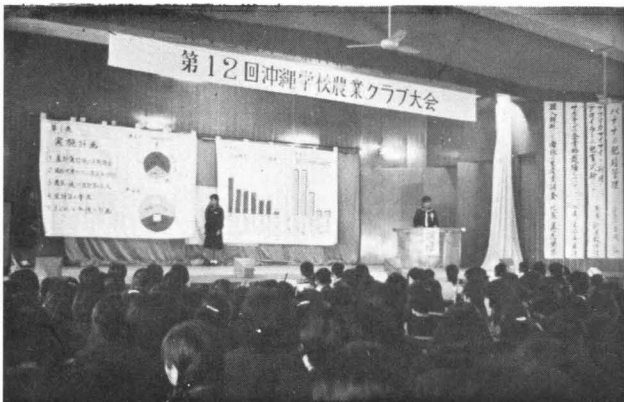
2. 左からFFO 成人代表の饒波中農高校長、FFJ 代表の青木東京都立園芸学校校長、FFJ 会長の佐藤君。



5. 耕耘競技で畦立て作業をする選手たち。



3. 農家の庭でおこなわれた乳牛審査競技。牛たちも一番に選ばれようとポーズをとるが、選手達の目はふし穴ではない。



6. コザ琉米親善センターで行なわれたプロジェクト発表。